

かたつむり 登らば登れ 富士の山

校長 黒澤 一慶

長い夏季休業が明け、児童・生徒の元気な姿が校舎に戻ってきました。有意義な夏休みが過ごせたことと思います。早く学校生活のペースを戻して、学びを広げていってほしいと考えています。

さて、夏季休業中に全国各地で大きな地震が発生しました。これらの地震により亡くなられた方々によりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。少しでも早く平穏な生活が戻ることを願っております。

2学期は、日頃の学習に加え、宿泊行事を実施する学年があり、全校的には11月末に学習発表会を予定しています。それぞれの学校行事において、日頃の学習で学び積み上げてきた成果をしっかりと発揮して、保護者をはじめ多くの皆さんにその姿を見ていただきたいと考えています。御協力をいただくことが多くなりますが、御理解のほどよろしくお願いいたします。

先日読んだ本の中に、江戸時代末期から明治時代に活躍した山岡鉄舟という人が書いた表題の句を見つけました。目指す目標は遥か遠くにあり、その道のりは長く険しくとも、ただ真っすぐ前を見据え、目の前にある道を着実に歩んで行く姿は凛々しく美しく、誰もが応援したくなります。そして、積み重ねた努力は、必ずやその人のその後の人生にとって大きな財産となるに違いありません。

日々児童・生徒が学習に励む姿も同様です。小さな一歩の積み重ねは一人一人の成長の礎となり、大きな一歩を踏み出す原動力になります。今後も日々の取組を大切にして、児童・生徒の学びの広がりや健やかな成長を後押ししていきます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

本校におけるICT機器の活用について ICT部担当 主幹教諭 福田 晃

GIGAスクール構想やTOKYOスマート・スクール・プロジェクトの推進に伴い、本校でもデジタル環境の整備、校内のICT化を進めてきました。授業でもGIGA 端末及びスマート・スクール(スマスク) 端末等のICT機器を活用して授業を展開し、7月に配布した「ICT通信 第1号」でその一端を紹介いたしました。

夏季休業中には、「知的障害特別支援学校におけるICT活用～子供たちの長所・強みを引き出す活用について～」をテーマに研修を行いました。講師には、都立特別支援学校でICT機器を用いた学習を推進され、現在本校の外部専門員でもある海老沢穰氏をお迎えしました。研修では、アプリケーションを実際に操作し、効果的な活用方法を学び、ICTを児童・生徒のアイデアや表現のツールとして活用すること、ICTを活用することで児童・生徒の可能性や選択肢が広がることを体感することができました。

(今月末発行の「ICT通信 第2号」で内容を紹介します。ぜひ御覧ください。)

本校では、ICT環境をより充実させるとともに、児童・生徒が授業でGIGA 端末やスマスク端末等のICT機器を活用することで、「学びたい」「学べた」、そして「わかった」と実感できる授業づくりを進めていきます。